

## 2003年度日中医学協会共同研究等助成事業報告書

— 調査・共同研究に対する助成 —

2004年3月14日

財団法人 日中医学協会  
理事長 殿

研究代表者氏名 長谷川 紘司 

所属機関名 昭和大学歯学部歯周病学教室

部署・役職 歯周病学教室・教授

所在地 〒145 東京都大田区北千束2丁目1番1号

電話 03-3789-1151 内線 354

### 1. 研究テーマ

中国人の歯周病罹患状況調査と中国人歯科医師への歯周治療学教育

2. 研究期間 自 2003年4月1 日 ~ 至 2004年3月15 日

### 3. 研究組織

日本側研究者氏名 鈴木 基之

所属機関 昭和大学歯周病学教室 職名 助教授

中国側研究者氏名 曹 采方

所属機関 北京大学口腔医学院 職名 教授

### 4. 研究報告書

別紙「研究報告書の作成について」の体裁に倣い、指定の用紙で作成し添付して下さい。

※研究成果を発表する場合は、発表原稿・抄録集等も添付して下さい。

※発表に当っては、日中医学協会助成金による旨を明記して下さい。

## 中国人の歯周病罹患状況調査と中国人歯科医師への歯周治療学教育

研究代表者名 長谷川紘司 昭和大学歯周病学講座  
共同研究者名 鈴木基之 昭和大学歯学部  
曹 采方 北京大学口腔医学院

### 要旨：

近年、急速な中国社会の発展に伴い、齲蝕と歯周疾患が増加していると報告されている。しかし中国における歯科医療事情は、単位人口あたりの歯科医師数で日本の約 30 分の 1 にあたり、このような状況を放置することは、中国国民にとって、極めて不幸な状況であり、今後の中国国民の健康を著しく阻害するばかりでなく、医療経済学的にも多大な損失となる事は明白である。

このような観点から、中国人歯科医師に対する歯周病治療の普及活動を行うことと現在の中国人の歯周病罹患状況を正確に把握し、このデータをもとに、効果的な予防プログラム立案・施行するためには中国人歯科医師に対し歯周病罹患状況調査の指導を行うことが重要であると考え本計画を立案・施行した結果良好な結果が得られた。

Key Words 歯周疾患罹患状況調査指導、歯周治療教育、歯周治療普及指導、

### 緒言：

日本人による中国における歯科疾患実態調査は、1990 年代より多数行われており、齲蝕についてはその低罹患率が、報告されている。しかし、近年の齲蝕罹患状況比較報告では大都市郡における齲蝕の増加が報告され、今後、都市化の進行に伴い、急増すると考察されている。

一方歯科 2 大疾患のうちの歯周病についての実態調査報告は中国衛生部による第二次全国口腔健康流行病学抽样调查(全国歯科疾患罹患状況抽出調査 1995 - 1998 施行)と、我々が 1993 年より 5 年間中国河北省承德市にて行った歯周炎自然史調査と歯周炎予防プログラム(日中医学協会 1996 年度調査・共同研究助成)の実施のみである。これらの結果より 10 歳代の小児に歯肉炎および初期歯周炎が認められ 20 歳代後半より歯周炎が発生し、40 歳代では 90%以上の罹患率であった。

歯周病は抜歯原因の第 1 位であり、この歯周病治療の普及と歯周病予防対策を早期に行う必要がある。

また一昨年 11 月北京市にて開催された「日中医学大会 2002」において基礎歯学分野での中国歯科界の目覚ましい発展を目の当たりにすることができたが、臨床歯学分野や予防歯学分野(特に歯周病学領域)での立ち遅れが顕著であった。

特に中国における歯科医療事情は、単位人口あたりの歯科医師数で日本の約 30 分の 1 にあたり、このような状況を放置することは、中国国民にとって、極めて不幸な状況であり、今後の中国国民の健康を著しく阻害するばかりでなく、医療経済学的にも多大な損失となる事は明白である。

我々は、このような観点から、中国人歯科医師に対する歯周病治療の普及活動を行うことと現在の中国人の歯周病罹患状況および中国人の口腔保健行動を正確に把握し、このデータをもとに、効果的な予防プログラム立案・施行するためには中国人歯科医師に対し歯周病罹患状況調査および口腔保健行動調査につい

て指導を行うことが重要であると考え本計画を立案・施行した。

#### 対象と方法：

対象は、北京大学口腔医学院・吉林大学口腔医学院に在籍する歯科医師および口腔医学院に在学中の歯科学学生と承德市口腔医院に在籍する歯科医師とした。

方法は、以下に記す歯周病治療の普及教育と歯周病罹患状況調査についての指導教育を講義、実習を行った。また吉林大学口腔医学院にては小児の口腔保健行動調査を質問紙法(アンケート)により実習した。

#### 結果：

##### 1. 歯周病治療の普及教育について

歯周基本治療・歯周外科治療の意義とその治療効果について、歯周病予防の必要性和具体的な予防法について法についてスライド・ビデオなどの視聴覚器材を用いた教育を行った。(1回3時間各地区2回ずつ行った)

###### ① 北京大学口腔医学院

歯科医師 30 名、歯科学学生 30 名系 60 名が参加し、活発な質疑応答がなされ、十分な開発教育がなされた。

###### ② 吉林大学口腔医学院

歯科医師 20 名、歯科学学生 30 名系 50 名が参加し、活発な質疑応答がなされ、十分な開発教育がなされた。

###### ③ 承德市口腔医院

歯科医師 10 名が参加し、活発な質疑応答がなされ、十分な開発教育がなされた。

##### 2. 歯周病罹患状況調査と齲蝕調査方法の指導教育について

承德市口腔医院にて歯科医師 10 名に対し下記診査法について行った。

###### ① 歯周組織調査

歯肉炎指数 (Loe & Silness) 歯周ポケット深さ 歯肉出血指数

アタッチメントレベル 歯周炎関連細菌検査

PCR 法を用いて、対象者ブランク中の細菌検査を行う。

以上について、代表歯、6 歯の検診を行う。

###### ② 齲蝕および現在歯調査

WHO の歯科疾患調査基準に従い、齲蝕罹患状況と現在歯数の調査法。

上記診査について承德市口腔医院来院患者の協力を得て実地実習を行い、基本的診査について満足のいく結果が得られた。

##### 3. 質問紙法(アンケート)による口腔保健行動調査について

吉林大学口腔医学院にて吉林大学附属幼稚園および自強小学校の児童および学童を対象として(表 1)、図 1 に示す 15 項目からなる口腔保健に関するアンケートを中国語に訳した質問紙にて調査を中国人歯科医師が行い、集計および分析を行った。

その結果食習慣として、ジュース・コーラ・乳酸飲料などの口腔健康に対し問題となる飲料の摂取が増加しており、また間食についても同様に甘味食品の摂取が増加していた。

歯肉の腫脹に関する自覚については幼稚園児で低いものの、小学生では 52.3%と増加していた。ブラ

ッシング時の出血についても同様に幼稚園児で低いものの、小学生で44%と増加していた。ブラッシング習慣について起床時および就寝前に行うものが多く、食後または間食後に行うものは少なかった(図2)。

#### 考察：

本計画実施にあたり2003年6月より中国国内にて活動開始の予定であったが、SARS流行により昭和大学側の渡航制約により、中国国内での共同作業の開始が約3ヶ月遅れたがこの間中国側共同研究者らとe-mail、FAXなどの通信手段の利用により十分事前準備を行った。その結果2回にわたる訪中時の研究活動は良好に行うことが可能となった。

SARS流行のような問題は今後も十分その可能性が考えられ、このような事態に対する対処法について十分検討しておく必要性があり、また通信手段の活用法が重要であると考えられた。

中国国内での活動は約3ヶ月の遅れがあったにもかかわらず、歯周疾患の治療および、疫学的調査法および予防法についての教育活動に参加した中国人歯科医師らへの教育効果は十分達成された。

また、質問紙法による口腔保健行動調査結果から飲料を含む食品の摂取に関する指導の必要性と歯肉における症状が質問紙法により小学生で増加している事とブラッシング習慣調査結果よりブラッシングについて指導する必要性が示唆された。

また今後、これらの教育活動のアップデートを計るための継続教育の必要性がある。

#### 参考文献

1. 中国衛生部：第2次全国口腔健康流行病学抽調査。1998。人民衛生出版社。北京
2. 中田 稔：中国人小児の歯科疾患と歯科的特質に関する実態調査。1992。文部省科学研究費報告書

作成日 2004年3月15日

アンケート用紙

このアンケートは保護者の方がお子さんの事について書いていただきます。

氏名 男・女 生年月日 年齢 民族

1. 同居している家族にレ点をつけてください。  
父, 母, 祖父, 祖母, その他 ( )
2. 幼稚園(学校)終了後の養育者は誰ですか。  
父, 母, 祖父, 祖母, その他 ( )
3. 睡眠時間はどれくらいですか。  
3時間以下, 3時間~5時間,  
5時間~7時間, 7時間以上
4. 大体決まった時間に食事をしていますか。  
 朝食 している  
           していない  
 夕食 している  
           していない
5. 食事にかかる時間はどれくらいですか。  
 朝食 15分以内, 16~30分, 31~60分, 61分以上  
 夕食 15分以内, 16~30分, 31~60分, 61分以上
6. おやつを決めていますか。  
決めている, 自由に与えている(食べている),  
食べていない
7. 水以外に多く飲むものは何ですか。  
お茶(加糖), お茶(無糖), 牛乳, 果汁,  
ジュース, コーラ, 乳酸飲料,  
その他( ), 水以外飲まない
8. おかしはどんなものを食べますか(あてはまるものすべて)。  
アイスクリーム, ビスケット, ゼリー, ケーキ  
ガム, 氷菓, チョコレート, キャンデー  
食べない, その他( )
9. いつ歯みがきをしますか。(あてはまるものすべて)。  
起床後 おやつの後  
朝食後 夕食後  
昼食後 就寝前
10. 歯を磨くときに歯茎から血がでることがありますか  
ある ない
11. 歯茎が腫れることがありますか。  
ある ない
12. 口臭が気になることがありますか。  
ある ない
13. 口を大きく開けたり閉じたりした時に顎がかかかかりますか  
 (小学生のみ)。  
よくある 時々ある ない
14. を大きく開けたり, 食事をする時に顎が痛い事がありますか  
 (小学生のみ)。  
よくある 時々ある ない

図1 アンケート用紙

表1 年齢別人数分布

学年	幼稚園			小学校			計
	中 (年少)	大 (年中)	学前 (年長)	2年	4年	6年	
年齢	3歳	4歳	5歳	7~8歳	9~10歳	11~12歳	
男女	18 24	29 17	42 30	36 29	29 46	37 39	191 185
計	42	46	72	65	75	76	376

(名)

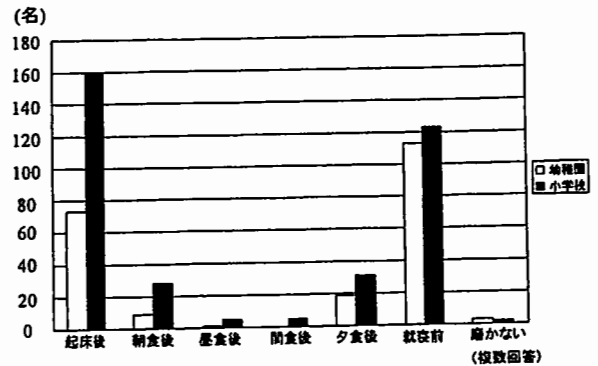


図2 歯磨きの時間帯